

釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

おん ね ない

月刊 温根内 通信

2024年2月号 No.329

2月15日(木)発行

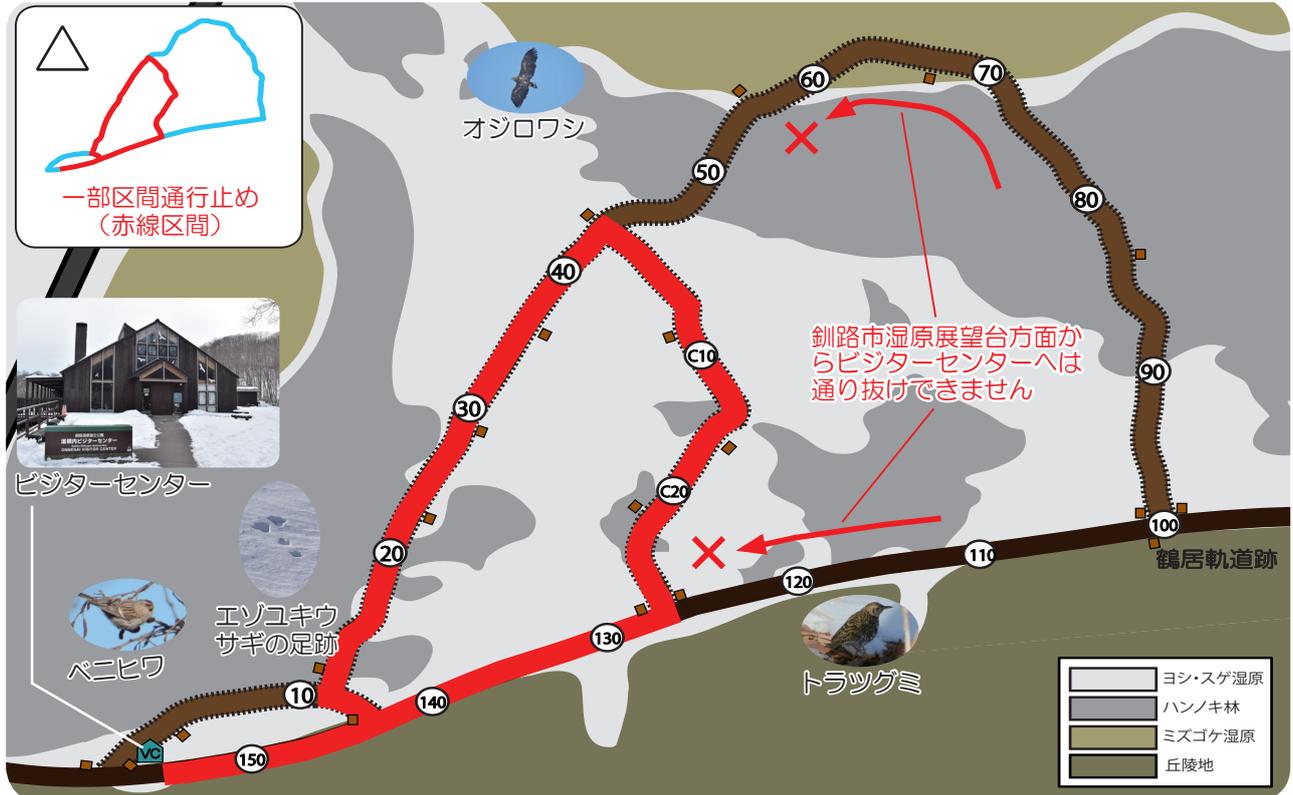


雪に重なる 動物の気配

道東の冬は降雪量が比較的少なく、晴天が多いのが特徴です。しかし同時に道東は気温が低く推移するので、一度積もった雪はなかなか解けません。解けるでもなく、新雪に覆われるでもなく、同じ積雪状態が保たれるので、その間に通った動物の足跡はどんどん増えていきます。

湿原についたいろいろな動物の足跡を見て、何をしに来たのかな?と想像を膨らませてみてください。

☆☆☆ 温根内木道周辺で見られた自然（1/15～2/14） ☆☆☆



【エゾユキウサギの足跡】
ウサギ科 蝦夷雪兎
足跡は頻繁に見られます。その足跡からは意外に大きな体が想像できると思います。



【ネズミ類の足跡】
樹木などの根元から根元へと移動しています。足跡と足跡の間に、比較的明瞭に尻尾の跡がつくのが特徴です。



【オジロワシ】 留鳥・冬鳥
タカ科 尾白鷲
尾が完全に白くない若い個体。若いといっても大きさは成鳥とほぼ同じなので、十分な迫力があります。



【ペニヒワ】 冬鳥
アトリ科 紅鶺鴒
ハンノキの実をついばんでいました。マヒワの群れに紛れていることも。各地で目撃情報が聞かれます。



【トラツグミ】 夏鳥（一部越冬）
ヒタキ科 虎鶺鴒
約3年ぶりの確認。鶴居軌道の水辺から飛び立っていきました。ここで採餌していたと思われます。



【クマゲラ】 留鳥
キツツキ科 熊啄木鳥
しきりに木の幹を突いていました。カラスほどの大きさがあり、突く姿も音も豪快です。

○表紙の写真 上：湿原に残された生きものたちの足跡 下：エゾユキウサギの足跡

○温根内木道周辺で観察された鳥（1/15～2/14）

釧路湿原は厳冬期を迎えており、冬を越すために鳥たちも餌探しに必死です。今シーズンは、アトリ類が好調のようです。温根内の周辺でも、マヒワやベニヒワの群れがたびたび確認されており、ハンノキやケヤマハンノキの実をついばんでいます。そのほか、冬の使者オオワシも時折上空を飛翔する姿が確認されています。

鳥（和名は日本鳥類目録第7版の順）	7	ヤマセミ	14	ハシブトガラス	21	キバシリ	
1	タンチョウ	8	コゲラ	15	ハシブトガラ	22	ミソサザイ
2	トビ	9	オオアカゲラ	16	ヒガラ	23	トラツグミ
3	オジロワシ	10	アカゲラ	17	シジュウカラ	24	マヒワ
4	オオワシ	11	クマガラ	18	ヒヨドリ	25	ベニヒワ
5	ノスリ	12	カケス	19	エナガ	26	ウソ
6	ケアシノスリ	13	ハシボソガラス	20	ゴジュウカラ	27	シメ

※温根内木道周辺の植物を折ったり持ち帰ったりしないようお願いします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いします。

☆☆☆☆ 自然ふれあい行事が開催されました ☆☆☆☆

○「**湿原の裏山でスノーシューハイク**」2月11日 参加者：14名 講師：藤原伸也（温根内 VC 指導員）

澄み切った青空のこの日、雪の積もった裏山にスノーシューで登り、いつもとは違った視点で湿原を眺めるスノーシューハイクを行いました。ビジターセンター裏の林でスノーシューのコツを掴んだ後、緩やかに裏山登山を開始します。丘の先端部には不思議な雪の窪みが多数見られ、エゾシカがここを寝床として使っているのがわかりました。さて、その先には木から降りて雪上を歩いた小型の動物の足跡。温根内では珍しいエゾリスのものと判明し、このあたりでも



餌を求めて駆け回っている姿が想像できました。きつい傾斜を登りきると雪景色の湿原を上から見下ろす場所につきました。雪の積もり方で湿原の植生の違いなどがよくわかり、決して一様な景観ではないことも理解できました。さらに稜線上を歩いていると、あまり見られないネコくらいの大きさと思われる動物の足跡を発見。これはもしや、エゾクロテン？参加者はいろいろな想像を掻き立てられます。終盤は斜面を半ば滑るのを楽しみつつ下山し、スノーシューハイクは幕を閉じました。

☆☆☆☆ パークボランティア主催 餅つき大会が開かれました ☆☆☆☆

1月20日、釧路湿原国立公園パークボランティアの方々の主催で温根内ビジターセンター裏で餅つき大会が開かれました！餅つきはとにかく、準備が大変。まず、餅つきのための臼や杵を倉庫から出し、きれいに洗わなくてはなりません。そして餅米を洗ったり、それを蒸すための薪ストーブを用意したり、お湯を沸かしたり…！何重もの工程を経て、ようやくあのペタンペタンという“餅つき”の段階にたどり着きます。今となっては餅つきの風景は珍しくなり、この日参加した人の中には、今回が餅つき初体験という方も多くおられました。そして、ついたお餅は即座に屋内に運び込まれ、手際よく丸めていきます。各工程でプロフェッショナルの方が控えており、頼もしい限りでした。それにしても、つきたてのお餅は何度食べても格別のおいしさ。よい1年を迎えられそうです。皆様、お疲れ様でした！



☆☆☆☆ 今年も無料レンタル実施しています ☆☆☆☆

この冬も、歩くスキー・スノーシューの無料レンタルを実施しております。ご利用の際は案内カウンターにお声がけください。

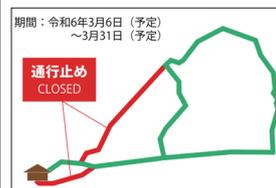
なお、現在木道が改修工事のため、通行範囲が規制されております。木道からはみ出さないようお願いいたします。レンタルの際は職員の指示に従ってお楽しみください。また、積雪の状態によってはレンタルを中断することもありますのでご了承ください。



☆☆☆☆ 木道改修工事 通行規制区間を変更しています ☆☆☆☆



この度木道の改修工事の範囲が拡大し、右の図に示したとおり、ビジターセンターからは木道を200mほどのみしか通行できる状態となっております。ご利用の皆様にはご不便をおかけしておりますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。3月初旬には一部が開通できる予定です。最新情報は当センター



のFacebookなどでお知らせいたします。

← 3月6日から一部が開通する予定です

☆☆☆☆ イベントのご案内 (3月) 事前の申し込みが必要です ☆☆☆☆
申し込みは開催日の1か月前から受け付けています

○ 自然ふれあい行事 ⇒お申し込み☎0154-65-2323

♪ ラムサール条約釧路会議 30周年記念
温根内の歴史を探訪しよう

〔日時〕3月17日(日) 10:00～12:00

〔定員〕15名(小学生は保護者同伴) 〔参加費〕無料 〔場所〕温根内ビジターセンター
野外を散策しつつ、過去の貴重な写真などから温根内周辺の現在までの歩みを紐解きます。



○ 塘路湖エコミュージアムセンター (あるこっと) ⇒お申し込み☎015-487-3003

♪ アイヌ刺繍講座

〔日時〕3月2日(土) 13:00～15:00 〔定員〕15名(小学生は保護者同伴)

〔参加費〕300円(材料費) 〔場所〕塘路湖エコミュージアムセンター

～各地で賑わっています～

ハイシーズンの夏には及びませんが、この冬の道内は観光客で賑わっているようです。各地のイベントや中国の春節、コロナ禍の反動などが重なったことなのでしょう。特に雪道に慣れていない方は、車の運転や歩行には注意を払い、冬の道内観光をお楽しみください。

月刊 温根内通信 No. 329

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

〒085-1145 北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel: 0154-65-2323 Fax: 0154-65-2185

E-mail: ovc@kushiro-shitsugen-np.jp

ホームページ: <http://www.kushiro-shitsugen-np.jp/>

Facebook: [温根内ビジターセンター フェイスブック](#)

開館時間: 9:00～16:00 (4月～10月は17:00まで)

休館日: 毎週火曜日 (12/29～1/3は休館) 入館無料